

令和7年度自己評価(教職員)

※パーセンテージを四捨五入(%)

	質問内容	大いに当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全く当てはまらない	判断がつかない	肯定率
1	場面や相手に応じてきちんとあいさつができる生徒が多い。	25%	65%	10%	0%	0%	90%
2	進んで学習に取り組む生徒が多い。	11%	61%	28%	0%	0%	72%
3	自分の役割を意識して一生懸命に清掃に取り組む生徒が多い。	35%	60%	5%	0%	0%	95%
4	思いやりをもって他者と接する生徒が多い。	21%	74%	5%	0%	0%	95%
5	健康や体力の維持・増進に努めている生徒が多い。	21%	74%	5%	0%	0%	95%
6	自らの授業力向上や授業改善につなげるよう、他の教職員の授業を参観する機会を設けた。	12%	76%	12%	0%	0%	88%
7	授業規律(着席・聞く姿勢・発表の態度などの学びのルール)を意識し、授業を行った。	65%	35%	0%	0%	0%	100%
8	授業の際の学習課題を、板書や掲示(体育は口頭の場合も)により生徒に提示した	82%	18%	0%	0%	0%	100%
9	授業で生徒がイメージしやすい工夫(ICT、拡大した図・写真等の利用)を心がけた。	35%	59%	6%	0%	0%	94%
10	授業で個々で考える時間や自分自身で考えをまとめる時間を設定するよう心がけた。	29%	71%	0%	0%	0%	100%
11	少人数で話し合ったり、個々の書いたものを読ませ合ったりという活動を設けた。	65%	35%	0%	0%	0%	100%
12	評価を念頭に置いて授業を行うとともに、評価の観点を生徒に授業で伝えた。	24%	71%	6%	0%	0%	94%
13	保護者にねらいを伝え、家庭学習の習慣化を図った。	24%	53%	24%	0%	0%	76%
14	生徒の頑張りや評価したり、教室や部活動で存在感を認めたりするよう努めた。	42%	58%	0%	0%	0%	100%
15	「いじめは絶対に許さない」という意識を強く持ち、未然防止や早期発見・早期対応に努めた。	68%	32%	0%	0%	0%	100%
16	特別支援教育の視点で、生徒個々の困り感やニーズに寄り添った指導を心がけた。	37%	53%	11%	0%	0%	89%
17	教室環境や学級だよりで、個々が学級内で自己存在感を感じられるよう工夫した。	53%	41%	6%	0%	0%	94%
18	不登校や集団不適應の生徒に対して、生徒本人や保護者との連絡を行うよう努めた。	61%	39%	0%	0%	0%	100%
19	生徒指導に関わる内容について、情報を職員間で共有し、チームで対応するよう心がけた。	67%	33%	0%	0%	0%	100%
20	部活動を通して、技術の向上だけでなく礼儀や社会性も身につけさせるよう指導した。	53%	40%	7%	0%	0%	93%
21	学校経営方針や重点努力事項・自身の目標申告の内容を念頭に置き、教育活動を行った。	35%	65%	0%	0%	0%	100%
22	「めざす学校像・生徒像」を実現できるよう、生徒に働きかけたり、教育活動に臨んだりした。	30%	70%	0%	0%	0%	100%
23	管理場所の安全点検を漏れ落ちなく行うとともに、日常的な危機管理意識を高く持つよう心がけた。	50%	50%	0%	0%	0%	100%
24	不祥事につながらないよう、勤務時間内外とも自分の生活を律するとともに、校内規程を遵守した。	80%	20%	0%	0%	0%	100%
25	「働き方改革」への意識を強く持ち、業務の効率化を自分なりに工夫し、具体的に推進した。	50%	45%	0%	5%	0%	95%
26	職場(職員室)は何でも話せたり、相談できたりする雰囲気だと感じる。	25%	70%	5%	0%	0%	95%
27	可能な形で保護者に情報発信し、情報共有や信頼関係の構築に努めた。	45%	55%	0%	0%	0%	100%
28	自分の校務分掌のみならず、必要に応じて他の教職員の分掌をサポートするよう心がけた。	35%	65%	0%	0%	0%	100%
29	校務システムやチームスの回覧内容を毎日確認し、最新の情報の把握に努めた。	35%	60%	5%	0%	0%	95%
※	「肯定率」とは、各質問において「⑤判断がつかない」という回答を除き、有効回答をもとに算出した肯定的評価(①+②)の割合を示しています。						